

責任あるAIポリシー

情報技術 | 発行日:2026年1月21日 | 改訂:該当なし

本ポリシーは、マグナが当社の業務、製品、ビジネスプロセス全体で人工知能ソリューションの責任ある使用と開発にコミットしていることを示しています。これらのソリューションは価値を生み出す機会を提供しますが、同時にマグナやその従業員、他の関係者にとって法的、評判的、その他のリスクを生み出す可能性があります。このポリシーを慎重に遵守することは、人工知能の安全かつ責任ある利用を促進し、機会を最大化しリスクを最小限に抑えるために不可欠です。

適用範囲

本ポリシーは、マグナ・インターナショナル社およびそのすべての運営グループ、部門(管理合弁事業を含む)、子会社およびその他の事業に適用されます。また、マグナを代表して行動する全ての個人(正社員・パートナー社員、独立請負人、役員、取締役、コンサルタント、代理人など)も対象です。本ポリシー内では、こうしたすべての方を「あなた」または「マグナ関係者」と呼びます。

本ポリシーは、責任を持ち、倫理的かつ安全な使用と開発のための要件を定めています:

- 従来のAIシステム、生成AIシステム、AIエージェント、エージェント**AIを含むすべてのAIソリューション**、そして
- AIソリューションによって生成されたあらゆるAI成果物**。

AIソリューションの「**使用**」とは、マグナまたは第三者が開発した既存の**AIソリューション**を用いて以下を行うことを意味します:

- メールや画像の生成、テキストの要約、質問への回答などの簡単な作業;または
- マグナの製品開発、ビジネスプロセス、製造自動化の取り組みなど、より複雑な業務も担当します。

AIソリューションの「**開発**」とは、そのソリューションとのより高いレベルの相互作用があることを意味します。これは以下のいずれかに及びます:

- AIソリューション**の仕様策定、
- AIソリューション**のモデルやアルゴリズムの構築、設計、改良、または訓練;
- AIソリューション**の基盤となるデータセットの収集、処理、または訓練;
- AIソリューション**のテストまたは検証、または
- 開発**のためのサードパーティツールを使用しています。

AIソリューションの開発は以下の通りです:

- 内部目的のみ(例:製造自動化);
- 外部の利害関係者(例:顧客、サプライヤー、他のビジネスパートナー)による利用;または
- マグナの製品への組み込みのために。

さらに、**AIソリューション**の開発も行われます:

- マグナの内部での使用（例:NVIDIA Isaac Simなどの第三者ツールや、CATIAのような従来型システムのAI機能を通じて）
 - マグナの代理人または代理人によるもの;または
 - マグナパーソンズとサードパーティ開発者のスタッフを含むチームによって共同で行われました。
- 「使用」と「開発」に加え、本ポリシー内には他の重要な用語も太字で記載されています。これらの主要用語の定義は本ポリシーの付録Aに記載されています。

マグナにおける責任あるAI

AIの生産性向上 を実現しつつ、リスクを最小限に抑え従業員の安全を守ることはマグナにとって重要です。以下の原則と実践を慎重に守ることで、マグナがこれらの目標を達成するのに重要な役割を果たしています。

1. AIソリューションの利用に伴うリスクの理解と管理

AIソリューションの利用は、理解し管理する必要のあるリスクを生み出す可能性があります。具体的には:

- 偏り:**AIソリューションはトレーニングデータに存在するバイアスを学習・強化する可能性があり、その結果が偏った結果や差別的な採用慣行などの意図しない結果をもたらす可能性があります。バイアスのリスクに注意を払い、AI成果物のバイアスを評価する際には批判的な目を持つべきです。
- サイバーセキュリティの脅威:**AIソリューションはサイバー攻撃の開始、個人情報の盗用、セキュリティの侵害に利用または悪用されることがあります。AIソリューションをこれらやその他の違法な目的で使うべきではありません。さらに、AIソリューションに不正なプラグイン、コネクタ、アドオン、APIをインストールしないことで、マグナをサイバー攻撃やその他の外部脅威から守る手助けをします。
- 透明性の欠如:**AIアルゴリズムはよく理解されていない方法で動作し、しばしば欠陥のあるAI成果物を生み出します。以下に詳しく述べるように、AI成果物が正確で信頼性が高く、関連性があり、偏りがなく、意図された用途に適切であることを確認するために、AI成果物の監督を行う必要があります。
- 機密性とデータプライバシー:**多くのAIソリューションは使用中にデータを収集し、開発者が機密およびまたは法的に保護されたデータや個人情報にアクセスできる可能性があります。第三者のGen AIシステムがマグナが所有または管理した入力(マグナ関係者の個人情報を含む)を使ってそのモデルを訓練、開発、または修正することを許可しなければなりません。
- 知的財産権:**Gen AIシステムは第三者の知的財産権を侵害するAI成果物を生成する可能性があります。例としては、適切なクレジットや引用なしに文章を使用したり、画像、アートワーク、デザイン、ソフトウェアコード、その他の資料を無断で使用またはコピーしたり、第三者の特許を侵害する製品設計やプロセスを示唆したりすることが挙げられます。

AIソリューションおよびAI成果物を第三者の知的財産権(著作権、特許、デザイン、商標を含む)を侵害する方法で使用してはなりません。

さらに、マグナが知的財産法の下で保護が必要な作業成果物を作成するためにAIソリューションを利用する場合は、マグナの企業知的財産法務チームと連携し、AI成果物に基づく可能性のある作業成果物をマグナが保護できるようにしなければなりません。

2. 監督の義務

AIの成果物は、最終決定、利用、または社内外で共有される前に、重要な人間のレビューが必要です。マグナの仕事で使用したAI成果物に対して責任を負うため、AI成果物に頼る前に慎重な評価、分析的思考、合理的な判断を適用しなければなりません。

適用法や他人の権利に違反して生成されたAI成果物、あるいはマグナの評判に害を及ぼす可能性があるものに依存しないでください。例としては、他者の著作権や商標権を侵害するAI成果物が挙げられます。

合理的な努力をした後もAI成果物の妥当性に疑問が持てる場合は、特に重大な法的または評判リスクを伴う状況では、AIに頼らないでください。

3. マグナの承認されたAIソリューションを活用しましょう

マグナは、サイバーセキュリティ基準や機密保持・データプライバシーポリシーの遵守を確保するため、複数のAIソリューションを検証しています。可能な限り、マグナの承認されたAIソリューションを活用してください。以下が含まれます:

- **MAVIS;**
- Microsoft M365 CopilotおよびCopilotチャットアシスタント;
- GitHub Copilotのコーディング・プログラミングアシスタント;
- Microsoft Azure AI Foundry Modelsプラットフォーム;
- 基礎モデルへのアクセスと管理のためのAmazon Bedrockサービス;そして
- Databricksプラットフォーム。

AIソリューションを使用し、マグナが所有または制御した入力で使用する予定がある場合は、まず **AI MagNET – AI Solutions and Technologies** 承認済みAIソリューションとしてリストされているか確認する必要があります。まだ承認されていない場合は、**MagNet**でツールを提案し、該当する承認プロセスを踏む責任があります。

未承認のAIソリューションに入力された入力には機密性がないと常に前提としてください。その結果、未承認のAIソリューションで使用される入力は、マグナの知的財産権を侵害する可能性があります。

4. 禁止使用方法

AIソリューションを使って、法律で禁止されている行為や結果を達成することは許されません。詐欺、差別、嫌がらせ、脅迫、いじめ、その他の害を含む。さらに、AIソリューションを使って以下のことを行なうことはできません。

- 年齢、障害、特定の社会的・経済的状況に関連する脆弱性を含む有害な方法で行動を操作したり、脆弱性を利用したりすること;
- 社会的行動や個人的特徴に基づく差別や害につながる可能性のある方法で人を評価または分類すること;
- 顔画像の非ターゲット化スクレイピングを通じて顔(感情)認識データベースを作成すること、
- 職場での人の感情を認識すること;または
- 民族、宗教、年齢、性的指向、政治的意見など、敏感または法的に保護された個人的特徴に基づいて、差別や害を及ぼす可能性のある方法で分類すること。

5. AI免責事項の導入

AIソリューションに関する状況では、合理的に他者に害を及ぼしたり誤解を招く可能性がある場合、AI免責事項を追加すべきです。

- **法的要件:適用法で免責事項の記載が求められる場合、必ず使用しなければなりません。**
- **ベストプラクティス:日常的なメールのような日常的な項目には、免責事項は一般的に不要です。AIが大きく生成された仕事や意思決定に大きな影響を与える可能性のある他の公的またはビジネス上の重要な状況では、免責事項を検討すべきです。**

AI免責事項を使用しなければならない他の具体的な状況には以下のようないことがあります:

- **AIソリューションは人間(例:チャットボット)と直接やり取りしますが、合理的な知識を持つ人にはそのやり取りがAIソリューションを含んでいるとは明確ではありません。**
- **あなたが使用または送信しているAI成果物には、偽りの画像、音声、または誤って本物と認識される可能性のある加工された画像、音声、映像が含まれます。および**
- **AI成果物は、顧客や他の関係者に影響を与える可能性のある製品、サービス、安全性に関するコミュニケーションなど、公益に関する事項について、内部または外部の利害関係者に情報を提供することを目的としています。**

推奨される免責事項の形は「以下のコンテンツは人工知能ソリューションを用いて生成されました」です。

特定の例外が認められます。例えば、AIソリューションのテキストは、編集責任を負う人間によってレビュー・編集されればラベル付けは不要です。さらに、AIが関与していることが明らかな場合は、免責事項は不要です。

6. AIソリューションの取得または開発

AIソリューションの取得(購入、ライセンス、購読を含む)または開発・共同開発を提案する場合、AI MagNET - AI Solutions and Technologiesのリンクからマグナの承認プロセスを遵守する責任があります。

このプロセスは2つの明確なステップから成り立っています。

- **ステップ1:**計画中のAI施策、アイデア、ユースケースを追跡し、透明性を促進し、ビジネス価値と財務実現可能性を評価し、重複作業を最小限に抑え、ガバナンスとリスク管理を強化すること; および
- **ステップ2:**前段階のAIソリューションの文書化、分類、リスク評価を行い、承認・実施されます。

取得または開発されるAIソリューションに関するあなたの役割に応じて、本ポリシーおよびマグナの責任あるAI原則、AI開発者手続き、EUAIAの遵守を目的として、あなたはソリューションの「開発者」と見なされることがあります。

7. AIエージェント

承認されたAIソリューションを通じて、あなたの特定の業務ニーズに合わせて作成されたAIエージェントを使用できます。AIエージェントは、このポリシーの完全な対象となるAIソリューションのことです。

もしあなたがビジネスオーナーとして展開する場合 AIエージェント あなた自身またはチームの利用のために、事前承認を得る責任があります。AIエージェント 上記の第6節の2段階承認プロセスを経て。さらに、必要な監視と監督のために技術チームと連携する責任も負います AIエージェント ライフサイクル全体(すなわち初期設計から退職まで、エージェント間通信を含む)には、ガバナンス要件、組織のIT標準、ガイドラインの遵守、そして RAIの原則 最後に、以下に記載されたその他の要件も遵守する必要があります。AI開発者の手順 に関して AIエージェント。

追加情報

1. マグナポリシーおよび適用法の遵守

AIソリューションの利用や開発に関わるすべての状況において、適用される法律、マグナの責任あるAI原則、その他関連するマグナのポリシー(例:機密情報ポリシー、データプライバシーポリシーなど)を遵守しなければなりません。これらの法律および関連するマグナポリシーの一覧については、本ポリシーの付録Bをご参照ください。

さらに、マグナおよび本ポリシーの適用対象となるすべての者の義務は適用法の対象となり、矛盾がある場合は、適用法に準拠しつつ、本ポリシーの要件にできるだけ近い解釈を行います。

2. 顧客、サプライヤー、ベンダーおよびその他の第三者要件および秘密保持契約の遵守

AIソリューションで第三者のデータや情報を扱う際には、契約上の制限、制限、禁止事項を考慮する必要があります。場合によっては、秘密保持契約やその他の機密保持契約に違反する可能性があるため、第三者データをAIソリューションに使用または入力することが認められない場合もあります。マグナが契約上の義務違反を回避できるよう、グループ、地域、または企業の法務顧問と該当する機密保持義務、制限、禁止事項およびその他の契約上の制限について話し合うべきです。さらに、マグナの機密保持ポリシーにも遵守する必要があります。

3. トレーニング

マグナは、**AIソリューション**の能力と限界をよりよく理解するためのリソースとトレーニングを提供します。必要な訓練をすべて期限内に完了する責任があります。

4. 報告

AIソリューションの開発中に発生した不具合や、偏った、有害、不正確、または異常な**AI成果物**を監視・記録・報告してください。多くの場合、そのような報告は**AIソリューション**内で直接行われることもあります。もしそうなら、その報告機能を使うべきです。**AIソリューション**自体に報告機能がない場合 や、リスクや結果が重大と考える場合は、「**データプライバシー/人工知能(AI)懸念**」セクションを通じて[マグナホットライン](#)に報告できます。

本ポリシー違反の疑いがある場合やマグナの知的財産権侵害を知った場合は、[マグナホットライン](#)を通じて報告してください。

地域や状況によっては、関係する政府機関への報告が必要になる場合もあります。このポリシーの規定は、あなたが個人として政府機関と話すことを妨げるものではありません。

5. コンプライアンスマニタリング

マグナは、マグナパーソンズによる本ポリシーの遵守を監視する権利を留保します。マグナは、**AIソリューション**に関するインシデント、被害や偏った成果物、セキュリティ、機密保持、データプライバシーの侵害を含む事案の防止、監視、対応のための対策を講じます。

6. 本ポリシー違反に対する説明責任

本ポリシーの条件に違反した場合、雇用終了を含む懲戒処分の対象となる可能性があります。

7. 詳細情報

詳細については、お担当の[グローバルAIリード](#)にご連絡くださいか、メールでお問い合わせください
ai.governance@magna.com。

発行: 2026年1月21日
改訂: 該当なし
次回レビュー: 2027年第1四半期
発行元: 人事・情報技術
承認済み: 人事・情報技術

付録A – 定義

「エージェントAI」とは、ある程度の自律性を持ちながらも、計画・行動・タスク完了が可能なAIソリューションを指します(すなわち、エージェントAIは行動、計画、目標を追求できる能力を指します)。

「AI」とは人工知能のことです。

「AIエージェント」とは、管理されたパラメータ内でユーザーのタスクやワークフローを実行するためのエージェント機能を利用する特定のツールやシステムを指す(すなわち、AIエージェントはこの機能を使って実際にタスクを実行するツールやシステムのことです)。例としては、Microsoft Teams内のAIエージェント(会議のスケジューリングや従業員の質問への回答)などがあります。専門的なAIアシスタントなどがあります。

「AI開発者手続き」とは、AI開発者手順を指します。

「AI成果物」とは、AIソリューションによって生成されるあらゆるコンテンツ(テキスト、画像、音声、動画、ソフトウェアコードを含む)、結果、推奨事項、意思決定、および/またはその他の成果物を意味します。

「AIソリューション」とは、従来のAIシステム、生成AIシステム、AIエージェント、エージェントAIを含むすべてのAIシステム、機能、ユースケース、製品、プラットフォーム、ツールを指します。

付録Bで定義される「適用法」

「承認されたAIソリューション」とは、マグナのITセキュリティプロトコルおよび機密保持要件を満たし、マグナの事業で使用するために承認・導入されたAIソリューションを指します。マグナの承認AIソリューションのリストはこちらでご覧いただけます。

AIソリューションの「開発」とは、そのソリューションとのより高いレベルの相互作用があることを意味します。これは以下のいずれかに及びます:

- AIソリューションの仕様策定;
- AIソリューションのモデルやアルゴリズムの構築、設計、改良、または訓練;
- AIソリューションの基盤となるデータセットの収集、処理、または訓練;
- AIソリューションのテストまたは検証、または
- 第三者のツールを用いた開発

AIソリューションの開発は以下の通りです:

- 内部目的のみ(例:製造自動化);
- 外部の利害関係者(例:顧客、サプライヤー、その他のビジネスパートナー)による利用;または
- マグナの製品への組み込みのために。

さらに、AIソリューションの開発 も行われます:

- マグナの社員による内部開発(例:NVIDIA Isaac Simのようなサードパーティツールや、CATIAのような従来型システムのAI機能を通じて);
- マグナの代理人または代理人によるもの;または
- マグナ社員とサードパーティ開発者のチームによる共同開発

「EUAIA」とはEU AI法のことです。

「生成AIシステム」とは、主に新しいコンテンツ(例:テキスト、画像、音声、動画、コードなど)を生成すること、または既存のデータを分析・分類するだけでなく、データから学習したパターンに基づいて多段階の行動を自主的に計画・実行することを目的としたAIソリューションを指します。

「入力」とは、AIソリューションに入力されたあらゆる入力、データ、クエリ、コマンド、情報、または文書を指します。

「マグナ」とは、マグナインターナショナル社およびそのすべての運営グループ、部門(管理合弁事業を含む)、子会社、その他世界中の事業を指します。

「マグナ所有または管理された成果物」とは、マグナ、マグナの個人、またはマグナの顧客、サプライヤー、その他のビジネスパートナーが管理、保有、または管理しているデータ、情報、または文書を指します。

「マグナの社員」または「あなた」とは、マグナの代理として行動するすべての者を意味し、以下にはマグナのフルタイムまたはパートタイムの従業員、独立請負業者、役員、取締役、コンサルタント、代理人。

「MAVIS」とは、マグナ AI仮想情報システム(VPN)アシスタントを指します。

「RAI原則」とは責任あるAI原則を指します。

「従来型AIシステム」とは、統計的・機械学習モデルやルールベースの論理を用いて既存データを分析・分類し、予測、推奨、意思決定などの成果物を生成するAIソリューションを指し、新しいコンテンツを生成したり、目標に向けた多段階の行動を自主的に計画・実行することを主な目的としていません。

「使用」とは、Magnaまたは第三者によって開発された既存のAIソリューションを用いて、次のようなタスクを実行することを意味します:

- 単純なタスク (例: メールや画像の生成、テキストの要約、質問への回答など)
- より複雑なタスク (例: Magnaの製品開発や製造自動化の支援)

付録B – 適用法およびマグナ政策

適用法

「適用法」とは、AIソリューションの選択、使用、開発、または導入の過程に関連する、隨時発効する可能性のあるすべての法律、法令、規則、条例、条令、指令、命令、判決、指針、および政府の要件を意味します。

- 2024年6月13日の欧州議会および理事会規則(EU)2024/1689、人工知能に関する調和ルール(「EUAIA」)を定めた

関連・関連マグナの方針

- マグナの機密情報ポリシー
- マグナ・インターナショナル株式会社の企業開示方針
- マグナ・インターナショナル株式会社 データプライバシーおよび保護方針、手続きおよびガイドライン
- マグナ情報分類方針
- マグナ・コーポレート・セキュリティ・ポリシー
- マグナのグローバルメール、インターネット/インターネット、ソーシャルメディアポリシー
- マグナ IT/OTセキュリティポリシー
- マグナ・インターナショナル株式会社 サイバーセキュリティ・インシデント対応方針
- マグナ健康・安全・環境政策